

## 自分で食べていますか

手づかみ食べは1人で食べるための練習です。  
こぼすことが多いですが、自分で食べようとする気持ちを大切にしましょう。  
シートを敷く、エプロンをつけるなど工夫して見守りながらすすめます。

### ○手づかみしやすいように

- ・ごはんはおにぎりにして持ちやすく
- ・野菜などは大きめに切ってつかみやすく
- ・食べ物はお皿にいれ、汁物は器に少量いれる

### ○子どもの食べるペースで食べさせましょう

子どもと一緒に、「これは何かな」「どんな味がするかな」など  
「声かけ」しながら楽しくゆっくりと食べさせましょう。

## 噛む練習をしましょう

乳歯が生えそろうのは2歳頃、奥歯は生えていますが、かむ力がまだ弱く、  
食べられないものもあります。噛む練習をつづけましょう。

### <1～2歳児の食べにくい食品と工夫>

食品の特徴	主な食品	調理の留意点
弾力性のあるもの	かまぼこ、こんにゃく、いか、たこ	この時期は与えない
皮が口に残るもの	豆、トマト	皮をむく
口中でまとまりにくいもの	ひき肉、ブロックチーズ	とろみをつける
ペラペラしたもの	わかめ、レタス	加熱してきざむ
唾液を吸うもの	パン、ゆで卵、さつまいも	水分を加える
誤嚥しやすいもの	もち、こんにゃくゼリー	この時期は与えない
噛みしづらいで、口にいつまでも残るもの	うす切り肉	たたいたり切ったりする

堤ちはる：乳幼児栄養の基本と栄養指導より

## 幼児の栄養（1～2歳頃）



1日3回の食事のリズムを大切に、生活リズムを整えましょう

- \*朝食も家族そろってとりましょう
- \*規則正しく食べる習慣をつけましょう
- \*味付けや色、食器、盛り付けにひと工夫しましょう
- \*食事時間は30分くらいが適当です
- \*おやつは1日1～2回が適当です
- \*食べたあとは口の中をきれいにしておきましょう
- \*よく噛む練習をしましょう



東大阪市

東保健センター ☎ 072-982-2603  
中保健センター ☎ 072-965-6411  
西保健センター ☎ 06-6788-0085

## ★1日の食事量の目安です

1食の中にⅠ・Ⅱ・Ⅲの食材を組み合わせましょう。

I	体のエネルギーになる食品	ごはん子ども茶碗 軽く2杯 (160g)	食パン 1/2枚 30g	じゃがいも 1/2個(50g)	油脂 大さじ1	砂糖 大さじ1/2
II	体の調子を整える食品	にんじん 2cm(20g)	野菜 1日 200g たまねぎ 1/6個(50g)	大根 (30g)	きのこ(10g)	
III	体のもとになる食品	ほうれん草 2株(40g)	トマト 1/6個(30g)	キャベツ 小1枚(30g)	海藻(2g)	りんご 1/2個(100g)

大人の1/2量が目安です

### 1日の献立例

朝



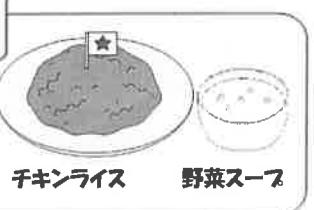
夕



10時



昼



3時



## ムラ食い・少食・遊び食べについて

今まで食べていたのに食べなくなった。ムラ食いがめだつ。  
同年齢の子より食事量が少ないと思う。

上記のような場合でも、子どもの機嫌がよく、発育が順調であれば心配はいりませんが、次の点に注意してしっかりと食事をとる習慣をつけましょう。

### ★おやつや飲み物の回数や量が多くなっていませんか？

- ・おやつは3回の食事でとり切れない栄養を補うための食事の一部です。
- ・1日1～2回、時間・量を決めて与えましょう。
- ・果物、野菜、牛乳・乳製品、いも類などを組み合わせて与えましょう。

### ★食事に集中できる食卓ですか？

- ・おもちゃを片づけ、テレビを消しましょう。
- ・落着きがなくなったら、食事時間は30分を目安に切り上げましょう。
- ・いすの高さを調整し、落ち着いて座って食べるようしましょう。

### ★生活リズムは整っていますか？

- ・食事を中心に、遊びや睡眠などで1日の生活リズムをつくりましょう。
- ・外遊びなど体をしっかり動かして、お腹をすかせましょう。

## 家族そろって楽しく食べましょう

家族の食事からとり分けいろいろなものを与えましょう。  
甘すぎるもの、味の濃いものなどは避け、家族みんなで薄味にしましょう。  
子どもや家族の好き嫌いで、食品が偏らないようにしましょう。

魚・肉・卵などの生ものや  
加熱の不充分なものは  
与えないようにしましょう

